

【防安交：橋梁修繕】

2級町道 青木線【橋梁修繕】

1. 概要

本路線は、県道蔵王大河原線と2級町道堤馬取環状線を結ぶ2級町道である。周辺には、大河原町立金ヶ瀬中学校、金ヶ瀬公民館等の公共施設があり、また青木地区への生活道路として通勤・通学にも利用される重要な路線となっている。特に、公共施設へのアクセス道路として必要不可欠な路線となっているが、青木堀に架かる青木前橋に於いて経年劣化による大きな損傷が見受けられている。そこで、構造物の機能に支障が生じる可能性があることから、早期に整備を実施するものである。

箇所名：青木前橋（おおきまえはし おおがわらまちながせおおきしたちない 大河原町金ヶ瀬字青木下地内）

延長：L=8.6m

事業着手年度：平成29年度

全体事業費：C=25.76百万円

H30要望事業費：C=24.00百万円

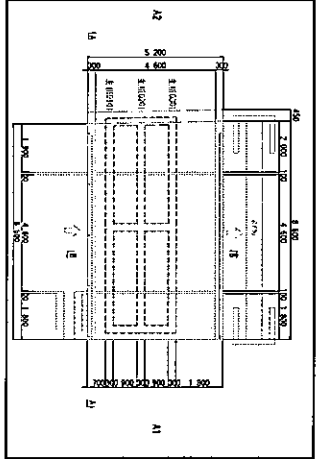
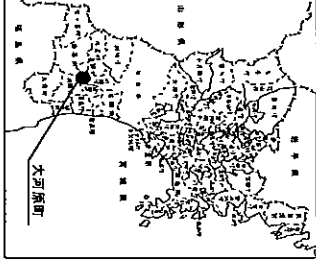
2. 現在の状況

- ・H29年度に於いて橋梁補修調査・設計を実施。（判定区分：判定Ⅲ）
- ・H30年度に於いて既設橋梁撤去し門型カバート涵橋の橋梁改修工事を実施予定。

橋梁名	工種	橋長	金額	判定区分
青木前橋	橋梁改修工事	L=8.6m	24.00 百万円	Ⅲ

3. 今後の予定

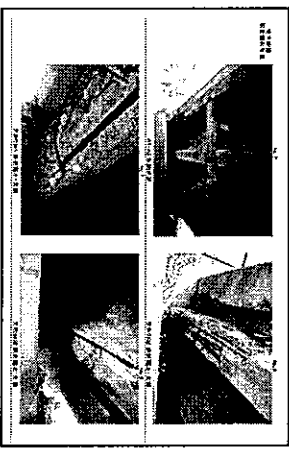
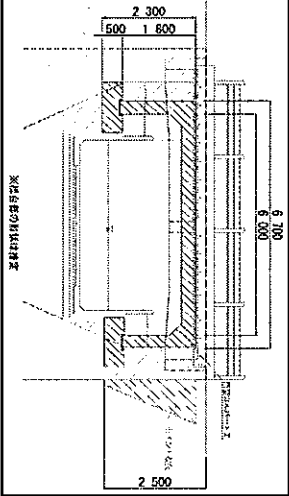
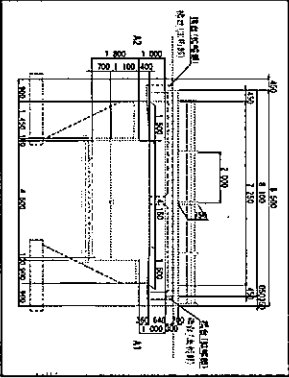
- ・H30年度改修工事完了に向け、関係機関との調整を図って行く。



平面図

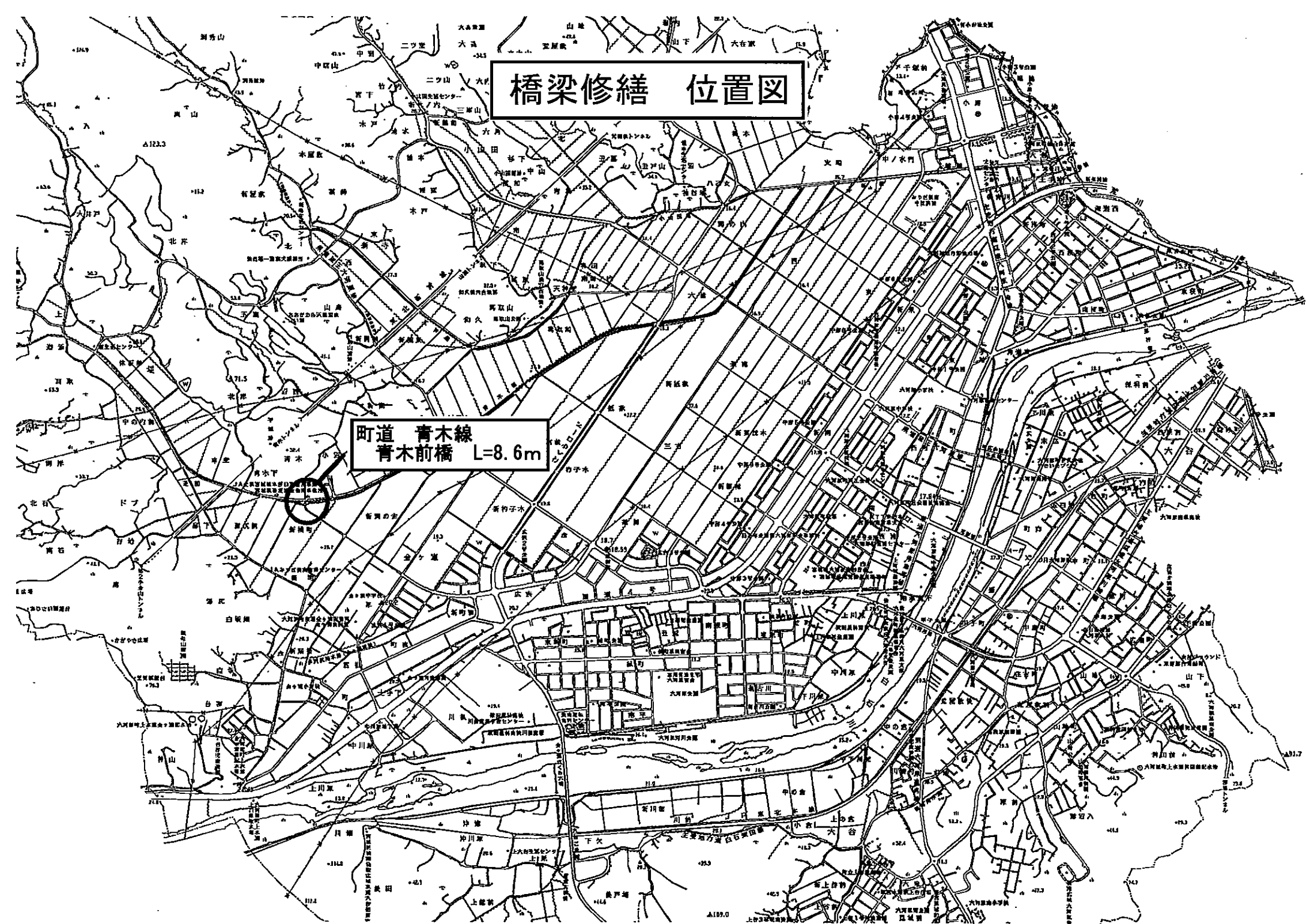
断面図

計画断面図



橋梁修繕 位置図

町道 青木線
青木前橋 L=8.6m



点検調査(その1) 橋梁の諸元と総合検査結果

起点側	緯度	38.04989	終点側	緯度		橋梁ID	38.04989 - 140.70360
	経度	140.7036		経度			

フリガナ		アオキマエハシ		路線名		青木線		管轄		宮城県		橋梁コード		321011			
橋梁名		青木前橋								大河原町		調査更新年月日		平成 29 年 7 月 21 日			
所在地	自	大河原町金ヶ瀬字新横町		距離標	自												
	至				至							最新点検年月日		平成 28 年 9 月 7 日			

供用開始日	平成 13 年 月 日			橋長	8.6 m		活荷重・等級					適用示方書						交通条件	調査年	年
上部構造形式	T桁			幅員	全幅員(m)	5.2	地覆幅(m)	歩道幅(m)	車道幅(m)・車線		車道幅(m)・車線		歩道幅(m)	地覆幅(m)	中央帯(m)	中央分離帯(m)	交通量		台	
					有効幅員(m)	4.6	0.3	0	4.6	1	0	0	0	0.3	0	0			昼間12時間	
下部構造形式	逆T型			備考															大型混入率	%
基礎形式																			荷重制限	t

総合検査結果	健全度 (橋単位)	Ⅲ
	青木前橋は、竣工後15年経過している。部材構成は舗装、防護柵、地覆、伸縮装置、主桁、横桁、床版、橋台、支承本体となる。路上について、舗装は局所的にひびわれが見られた。また路面の一部に凹凸が見られた。更に、路肩に土砂堆積が見られた。防護柵は全体的に防食被膜の劣化が見られた。また局所的に変形が見られた。更に、ボルトの一部でゆるみが見られた。地覆は全体的に変色劣化が見られた。また、局所的に欠損やひびわれが見られた。伸縮装置は全体的に変色劣化が見られた。上部構造について、主桁は全体的に変色劣化が見られた。また局所的にひびわれや鉄筋露出が見られた。横桁は全体的に変色劣化が見られた。また局所的に遊離石灰が見られた。更に、一部で欠損が見られた。床版は全体的に変色劣化が見られた。また局所的に遊離石灰や漏水が見られた。下部構造について、橋台は全体的に変色劣化が見られた。また一部で漏水や欠損が見られた。支承について、支承本体は鋼とゴムに分れており、鋼部は全体的に防食塗膜の劣化が見られた。更に、局所的に錆が生じていた。ゴム部分は全体的に変色劣化が見られた。	

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	38° 02' 60"	140° 42' 13"
青木前橋 (フリガナ)アオキマエハシ	青木線	宮城県柴田郡大河原町金ヶ瀬字新横町地内				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
宮城県 大河原町	2016.09.07	河川 (青木堀)	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者 (公社)宮城県建設センター				点検責任者 笠原 裕正		
点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅲ	ひびわれ、その他(剥離・鉄筋露出、うき)	写真1・2・3、主桁02、01		
	横桁	Ⅱ	その他(漏水・遊離石灰、変形・欠損)	写真4・5、横桁01・03		
	床版	Ⅱ	その他(漏水・遊離石灰、うき)	写真6・7、床版01		
下部構造	Ⅱ	その他(変形・欠損、うき、漏水・滞水)	写真8・9・10、橋台02、01			
支承部	Ⅰ					
その他						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
Ⅲ	主桁に著しい欠損、鉄筋露出が見られた。早期に措置を講ずべき状態。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

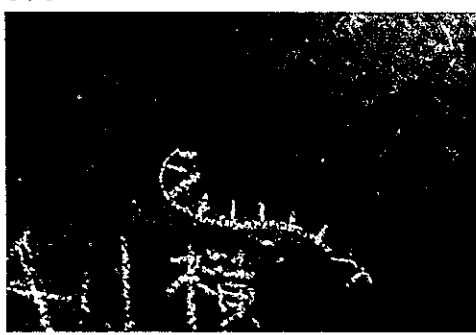
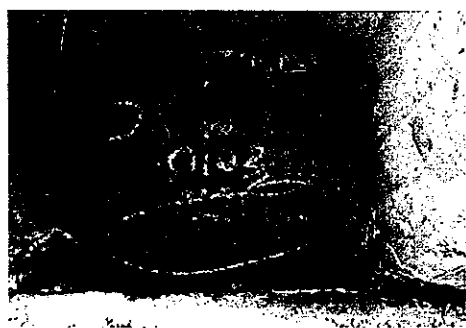
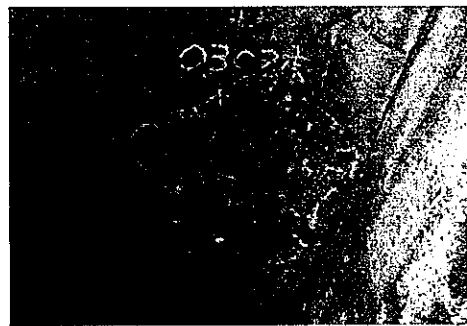
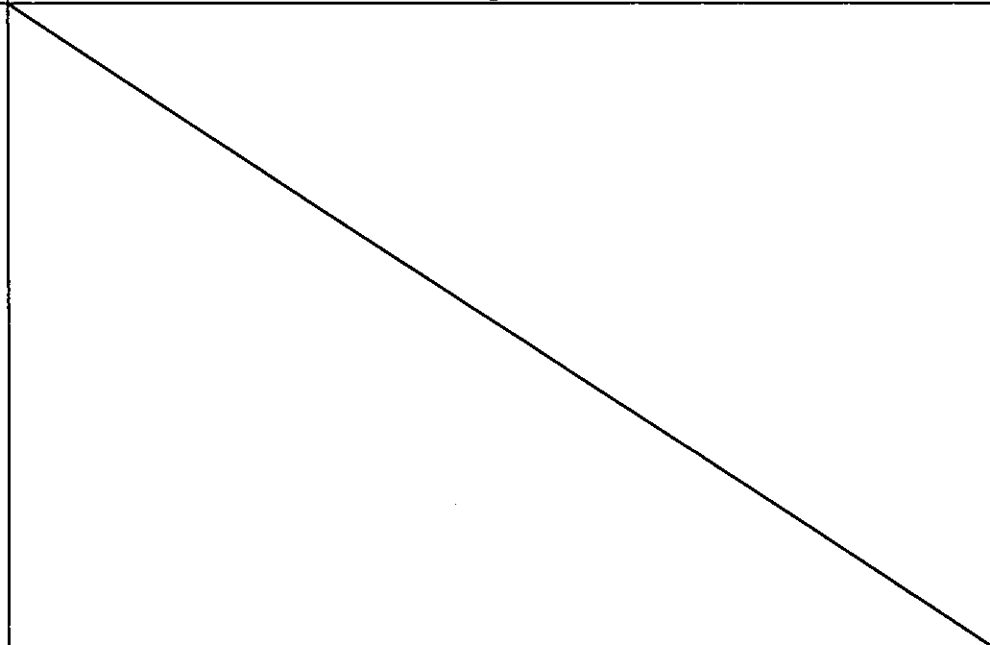
架設年次	橋長	幅員
2001年	8.60m	4.60m
起点  終点		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】	上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱ】
写真1  主桁02 写真2  主桁01 写真3  主桁01	写真4  横桁01  横桁03 笠原 裕正
上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】	支承部【判定区分: Ⅰ】
写真6  床版01 写真7  床版01	

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

下部構造【判定区分: Ⅱ】	
写真8 橋台02	写真9 写真1・2・3、主桁02
写真10 橋台01	

